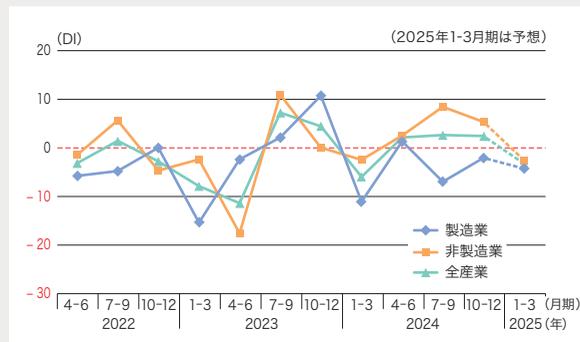


## ① 業況概要(自社) 全体ではプラス水準を維持も、見通しはやや厳しい

静岡県東部地域における2024年10-12月期の業況判断DI(全産業:前期比)はわずかに低下したが、3期連続でプラス水準となった(前期2.6→今期2.4:以下同様)。製造業は、パルプ・紙・紙加工品でDIが低下したが、食料品や金属製品などで改善し、全体では-7.0→-2.1と上昇に転じた。一方、非製造業は、旅館・その他宿泊所と建設でDIが改善したが、それ以外の卸・小売・サービスで大幅に低下したため、全体でも8.4→5.3と低下した。ただし、3期連続でプラス水準を維持している。

2025年1-3月期の予想DI(今期比)は全産業で-3.3、うち製造業-4.3、非製造業-2.6といずれも今期より低下が見込まれ、先行きへの見通しはやや厳しい。



### 業種別天気図

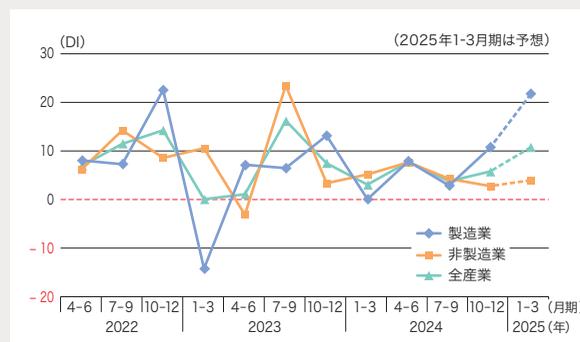
業種	業況好調 ←				業況不振 →			
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス	旅館・その他宿泊所	建設
2024年7-9月期	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☀️	☀️	☁️
2024年10-12月期	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️	☀️
2025年1-3月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️

(2024年7-9月期、10-12月期は前期比。2025年1-3月期は今期比予想)

## ② 売上動向 製造業では上向きに転じる、非製造業はやや足踏み

2024年10-12月期の売上動向DI(全産業:前期比)は若干の改善に転じ(前期3.7→今期5.7)、売上は引き続き増加傾向にある。製造業では、パルプ・紙・紙加工品を除いていずれもDIが改善し、全体でも2.8→10.6と上向いている。一方、非製造業では旅館・その他宿泊所でDIが高い水準となったが、その他の卸・小売・サービスはほぼ横ばい、建設では低下が続き、全体では4.2→2.7とやや足踏み状態にある。

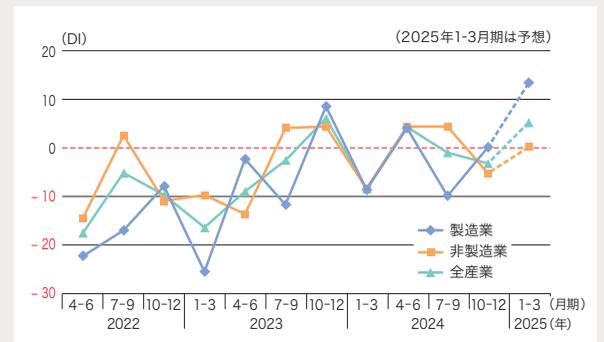
2025年1-3月期の予想DI(今期比)は、全産業で10.7、製造業で21.7、非製造業で3.9となり、特に製造業で大幅な改善への期待がみられる。



## ③ 利益動向 製造業はDIが改善に転じるも、非製造業では各業種で低下

2024年10-12月期の利益動向DI(全産業:前期比)は低下が続き、2期連続でマイナス水準となった(前期-1.1→今期-3.3)。製造業では一般機械器具で低い水準が続いているが、それ以外の業種ではいずれも改善に転じ、全体では-9.9→0.0と横ばいの水準に回復している。一方、非製造業では各業種で前期よりDIが低下し、全体では4.2→-5.3となった。うち卸・小売・サービスは4.2とプラス水準を維持したが、建設は-22.2と低水準で推移した。

2025年1-3月期の予想DI(今期比)は全産業で5.0、製造業13.0、非製造業0.0といずれも今期よりは上向いており、特に製造業では強い回復期待感がみられる。



## ④ 経営上の問題点 「人件費の増加」の割合が上昇、業種間で傾向に差

全体では「人件費の増加」、「原材料・資材・仕入商品の値上り」、「求人難」が上位にある。ただし、業種別にみると製造業では「原材料・資材・仕入商品の値上り」と「受注・売上の停滞・減少」の指摘が比較的多いのに対し、卸・小売・サービス

と建設では「求人難」、「人材の育成」、「人件費の増加」など人材・人件費関連の指摘がより上位にあり、業種間で傾向に差がある。

問題点	2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		前期比割合変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 人件費の増加	57	29.4%	67	35.3%	47	38.5%	↑
2. 原材料・資材・仕入商品の値上り	85	43.8%	81	42.6%	43	35.2%	↓
2. 求人難	79	40.7%	76	40.0%	43	35.2%	↓
4. 従業員の高齢化	61	31.4%	62	32.6%	41	33.6%	↑
5. 人材の育成	74	38.1%	77	40.5%	37	30.3%	↓
5. 受注・売上の停滞・減少	60	30.9%	62	32.6%	37	30.3%	↓
7. その他経費の増加	34	17.5%	36	18.9%	26	21.3%	↑
8. 過当競争・製品安	22	11.3%	16	8.4%	20	16.4%	↑

(回答企業194社) (回答企業190社) (回答企業122社)

**調査の概要**

- 調査目的: 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業: 静岡県東部地域に立地する企業727社 回答企業数123社(回答率16.9%)
- 調査方法: 当研究所の指定した項目につき実績と見通しを記入(回答は紙とウェブを併用)
- 調査対象期間: 実績:2024年10-12月期 見通し:2025年1-3月期
- 調査期間: 2024年11月中旬-12月中旬
- その他: 本調査結果は、11月下旬までの集計による速報値です。最終的な確報値は、今後弊社ウェブサイトにて公表いたします。

DI: ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標